



**第86回全日本ウエイトリフティング選手権大会
第40回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会**

令和8年5月29日（金）から31日（日）までの間、名古屋市中企業振興会館吹上ホール（愛知県）において「令和8年度第86回全日本ウエイトリフティング選手権大会・第40回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会」が開催された。ウエイトリフティング班から原勇輝（はらゆうき）2等陸尉以下12名が参加し、優勝が1名、2位が3名及び3位が2名の成果を納めた。今大会はアジア競技大会及び世界選手権の代表選考に関わる重要な大会である。昨年11月に国際ウエイトリフティング連盟による階級改定があり、2028年ロサンゼルスオリンピック実施階級（男女各6階級）が決定された。それに伴い、選手たちは「どの階級で勝負するか」という戦略的な転向や、フィジカル面での抜本的な見直しが必要となった。その結果、今大会では「同門対決」が多く生まれた。仲間でありライバルという関係性の選手たちは、日々の練習の中で自然と競争意識が生まれ、互いに刺激を与え合い、プレッシャーもある中、切磋琢磨して練習に励み試合に備えてきた。

大会1日目の女子53kg級は、今年4月に新規採用で入校した安部希美（あべのぞみ）2等空曹がスナッチ89kg、クリーン&ジャーク（以下C&J）107kg、トータル196kgで優勝した。スナッチ競技ではライバルたちが全ての試技を終える中、第1試技のスタート重量を同階級の中で一番重い重量で設定し、見事成功させて首位に立った。C&J競技では設定重量を確実にクリアし、ライバルにプレッシャーをかけ首位を守り抜いた。試合後安部2曹は、「今回の記録に満足していないが、優勝してロサンゼルスオリンピックに一步近づけたことは素直に嬉しい。9月に国内で行われるアジア競技大会は、オリンピックの前哨戦だと捉えており、空気感や戦い方を間近で経験し、良いイメージを得るためにも絶対に自分の力でこのチャンスを掴み取りたかった。アジア競技大会と世界選手権のスペンは短いが、代表権を獲得したらどちらも出場したい。今後は国際大会でも戦えるように調整して、さらに成長していきたい。」と語った。



総合成績（メダル獲得者）

出場階級	氏名	階級	出身地	スナッチ	クリーン&ジャーク	トータル	順位
女子53kg級	安部 希美	2等空曹	愛媛県	89	107	196	🥇 優勝
男子65kg級	佐藤 康太郎	3等陸尉	宮城県	124	167	291	🥈 2位
男子79kg級	西野 溪心	陸士長	京都府	142	164	306	🥈 2位
男子88kg級	原 勇輝	2等陸尉	徳島県	144	186	330	🥈 2位
女子69kg級	田中 美奈	2等陸曹	香川県	93	120	213	🥉 3位
女子77kg級	中嶋 友菜	2等陸曹	富山県	91	116	207	🥉 3位

